

高知カツオ県民会議

第3回 シンポジウム

日時

2018年

7月24日 火

15:30~18:00(開場/15:00)

場所

高新文化ホール

(高知新聞放送会館東館・7階) 入場無料

内容

基調講演

「西部太平洋におけるカツオの南北回遊」

パネル討論

「カツオ資源を考える」

お申し込み〈一般〉

入場ご希望の方は、ファックスまたはメールで

●氏名 ●年齢 ●住所 をご記入の上、お申し込みください。

FAX 088-856-6292

✉ katsuo@kochikc.co.jp

お問い合わせ 高知カツオ県民会議事務局 TEL.088-856-6289 〈(株)高知広告センター内〉

〔主催〕



高知カツオ県民会議

高知カツオ県民会議

検索

www.kochi-katsuo.com



ごあいさつ



尾崎 正直

高知カツオ県民会議会長 | 高知県知事

高知カツオ県民会議第3回シンポジウムが、多くの皆様のご尽力のもと開催できますことを、心から感謝申し上げます。
カツオ資源に対する危機感を共有する有志によって平成29年2月に発足いたしました「高知カツオ県民会議」は、これまでに2回のシンポジウムを開催し、カツオ資源を取り巻く問題や今後の県民会議の方向性を多くの県民の皆様と共有してまいりました。

また、昨年12月には、フィリピンで開催されました国際的な資源管理の議論の場である、中西部太平洋まぐろ類委員会の年次会合に参加し、県民会議の活動をアピールするとともに積極的なロビー活動を行ってまいりました。

一方、こうした活動に加えて、当県民会議ではカツオ文化の日本遺産認定に向けた活動に着手したところです。本県に受け継がれているカツオにまつわる文化と地域の歴史的魅力や特色を織りまぜたストーリーを日本遺産として登録し、カツオ文化を後世まで伝えるとともに、カツオ資源の持続的な利用を目指してまいります。

本日のシンポジウムでは、日本近海と太平洋南部とのカツオ資源の関係についての基調講演と、県民の皆様身近なカツオ製品についてのパネル討論などをおとしてカツオの資源問題や消費に関する議論を深めたいと考えております。

今後も、「高知カツオ県民会議」の活動を通じ、カツオ資源の管理の強化と資源の回復が実現するよう、皆様とともに取り組んでまいります。

プログラム

- 15:30 ● 開会
- 15:32 ● 開会挨拶・高知カツオ県民会議の取り組みについて
受田 浩之 高知カツオ県民会議会長代理 | 高知大学副学長
- 15:45 ● 会長挨拶
尾崎 正直 高知カツオ県民会議会長 | 高知県知事
- 15:50 ● 基調講演「西部太平洋におけるカツオの南北回遊」



講師/二平 章 (にひら・あきら)

茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター客員研究員
カツオの資源生態・文化誌研究者

[プロフィール]

- 1948 年茨城県大子町生まれ。北海道大学水産学部卒業後、茨城県水産試験場で長く研究員生活。
- カツオ・サバ・イワシ・ヒラメ・アンコウ・シラスなどの生態、海洋環境変動などについて研究。特に、茨城県那珂湊漁港に寄港する土佐のカツオ一本釣船に魅せられ、以来40年間カツオの資源生態、文化史研究に取り組んでいる。
- 2001年、カツオの行動生態学的研究で水産海洋学会宇田賞受賞。
- 現在、茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター客員研究員、北日本漁業経済学会会長、日本カツオ学会役員
- 全国沿岸漁民連絡協議会の事務局長も務めており、家族漁業や地域漁業を守り、魚食文化を大切にしようと全国各地や地元のひたちなか市で取り組んでいる。

- 16:50 ● 休憩
- 17:00 ● パネル討論「カツオ資源を考える」

ファシリテーター

受田 浩之 高知カツオ県民会議会長代理 | 高知大学副学長

パネリスト

二平 章 茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター客員研究員

竹内 太一 情報発信分科会副座長 | ㈱土佐料理 司 代表取締役社長

福田 仁 高知新聞 報道部

- 18:00 ● 閉会

〈個人情報の取り扱いについて〉 ●お預かりした個人情報は、本事業にのみ利用いたします。 ●利用目的に照らして、不要になった個人情報は迅速に処分いたします。

〈一般の方は下記にご記入の上、お申し込みください。〉 FAX:088-856-6292

高知カツオ県民会議 第3回シンポジウム

F A X 申込書	氏 名		年 齢	歳
	住 所	〒		